



第338回

Web版

# こども病院カンファレンス

【合同開催】

第413回 福岡東部地区小児科医会

2022年

配信期間

6月14日~30日

※注 「日本医師会生涯教育制度の単位」が必要な先生は  
6月14日もしくは15日の視聴が必須です。

★こちらから動画をご覧ください。  
視聴後は出席登録をお願いします。



<https://childhp.fcho.jp/formedicalperson/conference/lastconference>

## ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンについて改めて学ぶ

【テーマ】トピックス

総合診療科 空閑 典子

HPVワクチンは、令和3年11月26日の厚生労働省通知で積極的勧奨が再開されることになりました。接種を逃した方のためのキャッチアップ接種もできるようになっています。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸癌に罹患し、約2,900人の女性が死亡しています。子宮頸癌の原因のほとんどはHPVという事が明らかになっていますので、その発症機序とHPVワクチンによる子宮頸癌予防のインパクトについて概説します。

## 小児の内視鏡外科手術

【テーマ】リフレッシュコース

小児外科 林田 真

1990年代より小児外科領域へ内視鏡手術が導入され、現在までに先天性疾患を含めた小児外科特融の疾患に適応が拡大されてきている。内視鏡下手術の特徴は、小さな手術創で、痛みも少なく、術後も早くからミルクも飲んで入院期間も短縮され早く退院することができる。小児の内視鏡外科手術として多いのは虫垂炎と鼠径ヘルニアであるが、先天的な形態異常の症例も多く術式が標準化されていないものもある。また、対象は新生児から成人と同じ体格の中学生までと幅広く、患児の年齢により体格が異なるという問題もある。今回、小児外科領域の内視鏡外科手術について紹介する。

医局カンファレンス委員：赤峰 哲 / 村上 信哉